

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年2組 男15名 女15名
指導者 細 川 清 恵

「しごと」と「つくり」がよくわかるじどう車ずかんをつくろう

中心学習材「じどう車くらべ」(光村図書1年上)

補助学習材「しょうぼう車」(ポプラ社)

「はたらく自動車スーパー大百科」(成美堂出版)

<育てたい主となる能力>

◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。
(書ウ)

<主となる言語活動>

◎自動車の「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書くこと。

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、これまで、平仮名の学習に取り組み、文字を覚えて書くという活動を意欲的に行ってきた。小単元においては、長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞の使い方を学習し、言葉を集めたり、短い文を書いたりする学習を積み重ねてきた。「すきなもののひろばをつくろう」では、友達から聞いた好きなものをカードに書いて、学級の人々に紹介する活動を行った。「てがみをかこう」では、手紙を出す相手のことを考えながら楽しく書く活動を行い、「わたしのはっけん」では、身近なものをよく見て、発見カードに書き、それを基に観察文を書く活動を行ってきた。また、日常的には、行事や学習の一言感想を書いたり、週末に家庭学習として日記に取り組んだりしてきている。

これらの学習や活動を通して、子どもたちは、相手や目的を意識し、経験したことや調べたことを楽しんで書こうとすることができるようになってきている。

(2) 学習材観

自動車は身近で馴染みがあるが、子どもたちは、「仕事」と「つくり」という観点から関連付けて考えるという経験はあまりしてきていない。そこで、自動車の機能(仕事)と構造(つくり)の関係を明確にしなが、いろいろな自動車の特性をとらえさせることで、物事を関係付けてとらえるという新しい見方を身に付けさせたいと考えた。中心学習材「じどう車くらべ」は、「話題・問題提示→問題に対する説明」という文章構成になっていて、問題に対する説明の中で自動車の仕事とつくりの二つの因果関係を述べている。子どもたちは、バス、乗用車、トラック、クレーン車がどんな仕事をしていて、そのためにどんなつくりになっているのか、興味をもって読み進めると同時に、「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章の形式に慣れていくものと思われる。

自分が選んだ自動車(自由題材)を説明する文章を書く学習に入る前に、図鑑「しょうぼう車」と「はたらく自動車スーパー大百科」の一部を読みながら、「はしご車(共通題材)」の「仕事」と「つくり」という必要な情報を取り出す学習を行う。図鑑「しょうぼう車」、「はたらく自動車スーパー大百科」は自由題材に取り組む際に子どもたちが活用する図鑑とほぼ同じような形式になっており、1年生にも分かりやすい言葉で書かれているので、共通題材で扱うのに適した資料と思われる。

(3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次においては、教師が事前に用意しておいた数種類の自動車の写真や録音テープを聞いてクイズに答える活動を行ったり、外で実際に走っている自動車を見たりすることを通して、自動車に興味・関心をもたせておく。そして、単元のゴールである「しごととつくりがわかるじどう車ずかんをつくる」という目的意識を明確にしてから、学習計画を立てる。でき上がった図鑑は、「学級の友達」とも交換して読み合うが、図書館に置いて、「来年の1年生」にも読んでもらうという、相手意識も明確にしておく。また、自分の図鑑に載せたい自動車の候補を選んでおくことで、第2次の書き方を学ぶ学習に主体的に取り組ませたいと考える。教室にコーナーを設けて、自動車図鑑や自動車絵本をいつでも手に取られるようにしておく。

第2次においては、学習材「じどう車くらべ」を通して、それぞれの自動車の「仕事」と「つくり」の特徴を読み取り、「仕事」と「つくり」がどのように書き表されているかを学習する。読み取りの際には、「いろいろなくちばし」で学んだサイドラインを引くことや大事な言葉を書き抜くこと、挿絵と文を結び付けること等の読みの技能を使いながら、「仕事」「つくり」を関係付けて読み、図鑑カードにまとめていく。子どもたちは、「仕事」と「つくり」を説明する文章を視点に沿って読んだり、視写したりすることで、説明文の構成を理解し、文の書き方に慣れていくと思われる。図鑑カードには、「仕事」と「つくり」を説明する文章以外に子ども一人一人の思いが表現されることをねらい、絵や吹き出しも付けることにする。吹き出しには、自動車の「仕事」、「つくり」についての自分の感想やそれ以外のみんなに知らせたい事柄を自由に書いてよいこととする。

第3次では、共通題材と自由題材の自動車図鑑カードに取り組む。子どもたちは、第2次において、説明文の書き方は学んだが、図鑑や絵本から必要な情報（「仕事」と「つくり」）を選んで取り出す学習はしていない。そこで、共通題材「はしご車」において、2種類の図鑑の一部分（はしご車の頁）を教師が提示し、そこから、「仕事」と「つくり」を取り出す学習を行う。「はしご車」の「仕事」と「つくり」を確認後、「じどう車くらべ」で学んだ説明文の書き方を生かして、「はしご車」の「仕事」と「つくり」が分かるように説明文を自力で書く。そして、共通題材「はしご車」の図鑑カードを書く活動での学びを生かして、自分の選んだ自動車（自由題材）の図鑑カードを書いていく。

第4次では、完成した図鑑を友達と交換して読み合い、感想を互いに伝え合う活動を行う。対話形式で何人かの友達に読んでもらえるようにして、「仕事」と「つくり」に対する感想や取り組み方のよさなどをたくさん聞ける機会としたい。また、単元のはじめにもった目当てについて振り返り、頑張ったこと、できるようになったこと、楽しかったこと等を書くことで学習のまとめとしたい。

(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・「あきのたからものたいかい」、「むかしからのあそび」などにおいて、自分の作品のアピールポイントを説明したり、高齢者から教わった遊び方を友達に説明したりする。(生活)
- ・「ボールけりゲーム」におけるルール工夫、チームで考えた作戦や練習方法を説明したり、紹介したりする。(体育)
- ・帰りの会のスピーチや日記などで、自分の経験したことや調べたことを、話したり書いたりする。
(日常生活)

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎図鑑作りに興味をもち、自動車について書かれている絵本・図鑑や学習材を進んで読み、意欲をもって図鑑を作ろうとする。	・自動車について書かれている絵本・図鑑や学習材を進んで読み、意欲をもって図鑑を作ろうとしている。
書く能力	◎調べたことを基にして、自動車の「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書くことができる。(書ウ)	・自動車の「仕事」と「つくり」を「そのために」という言葉で関係付けて説明する文章を書いている。
読む能力	○自動車の「仕事」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(読イ)	・「仕事」と「つくり」の関係を考えながら、学習材や自動車について書かれている絵本・図鑑を読んでいる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。ウ(ア)	・片仮名で表記することのできる自動車の名詞を読んだり書いたりしている。

3 学習指導計画（全 11 時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。
(2時間)

- ① クイズに答えたり、外に出て実物を見たりする活動を通して、自動車に関心をもつ。
② 単元の学習計画を立てる。
<評価> _____
① いろいろな自動車について知っていることを発表しようとしている。《態度・発言》
② 自動車図鑑を作るというねらいを理解し、学習の見通しをもっている。《態度・発言》

第2次
「じどう車くらべ」を読み、図鑑に載せる説明文の構成・書き方を学ぶ。
(3時間)

- ③④⑤
学習材「じどう車くらべ」を読み、バスと乗用車、トラック、クレーン車それぞれの「仕事」と「つくり」を読み取り、図鑑カードに書く。
<評価> _____
③④⑤
挿絵や言葉を手掛かりにしながら、それぞれの自動車の「仕事」と「つくり」の関係を読み取り、図鑑カードに書いている。《発言・図鑑カード》

第3次
自動車図鑑を作る。
(4時間)

- ⑥ 「はしご車」(共通題材)の図鑑カード作りに必要な情報(「仕事」と「つくり」)を見付けてメモする。
⑦ 「はしご車」(共通題材)の図鑑カードを作る。
⑧ 自分が選んだ自動車(自由題材)の図鑑カード作りに必要な情報(「仕事」と「つくり」)を調べてメモする。
⑨ 自分が選んだ自動車(自由題材)の図鑑カードを作る。(本時)
<評価> _____
⑥ 「はしご車」の「仕事」と「つくり」を見付けてメモすることができている。《発言・メモ》
⑦ 「はしご車」の「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書いている。《発言・図鑑カード》
⑧ 自分が選んだ自動車の「仕事」と「つくり」を調べて、メモすることができている。
《活動の様子・メモ》
⑨ 自分が選んだ自動車の「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書いている。
《活動の様子・図鑑カード》

「じどう車くらべ」の学習で学んだ説明文の書き方を活用して、「はしご車」の説明文を書く。

「はしご車」の図鑑カードを作る学習で学んだ知識・技能を活用して、自分が選んだ自動車の図鑑カードを作る。

第4次
完成した図鑑を読み合い、学習のまとめをする。
(2時間)

- ⑩ 完成した図鑑を友達と交換して読み合い、感想を伝える。
⑪ 単元の学習を振り返る。
<評価> _____
⑩ 友達の書いた自動車の「仕事」と「つくり」について感想をもったり、友達の頑張りを見付けて伝えたりしている。
《活動の様子・感想カード》
⑪ 単元のめあてについて振り返り、頑張ったことや楽しかったことなどについて書いている。
《発言・振り返りシート》

4 本時の指導

(1) ねらい

調べたことを基にして、自分が選んだ自動車の「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書くことができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

「はしご車（共通題材）」で学んだ説明文の書き方を生かし、「自分が選んだ自動車（自由題材）」の仕事とつくりを説明する文章を書く。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。 (2分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">しごととつくりがわかるようにせつめいぶんをかこう。</div>	全	○「自動車図鑑を作る」という単元のゴールに向け、本時は、前時のメモを基に、「図鑑カード」に自分が選んだ自動車の説明文を書くことを確かめ、単元の中における本時の位置付けを確認する。
	2 課題解決の見通しをもつ。 (8分) (1) 学習の流れを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①説明文を書く。 ②絵に吹き出しや説明を付ける。 ③見直しをする。 ④友達と読み合う。 ⑤学習の振り返りをする。</div> (2) 文の書き方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">〈仕事の文〉 ・ ~は、~しごとをしています。 〈つくりの文〉 ・ ~は(が)、つくってあります。 (なっています。) ・ ~がついています。 (あります。) 〈つなぐ言葉〉 そのために</div>	全	○本時の学習は、共通題材「はしご車」の学習で身に付けた力を生かしていくことにより、解決されることに気付くようにする。 「仕事の文、つくりの文はどんな文でしたか。仕事の文とつくりの文をつなげる言葉は、どんな言葉でしたか。」 ○前時までの学習を想起させ、「仕事」と「つくり」の文型と「仕事」と「つくり」をつなげる言葉を確認する。
図鑑カードを作る	3 学習課題を解決する。 (1) 前時に書いたメモを見ながら、説明文を書く。 (22分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1文目・・「仕事」の文 ・「自分が選んだ自動車」は、「~仕事」をしています。 2文目・・「つくり」の文(その仕事をするために最も大切だと考える「つくり」)</div>	個	○前時に書いたメモをそれぞれの基本文型に当てはめて書くようにする。 ○共通題材で使用した図鑑カードのモデルを提示し、書き方を確認しながら、自力で学習を進められるようにする。 ○二つ以上の「つくり」を書く場合は、「そのために」でつながる文にその仕事をするために最も大切だと考える「つくり」を書くようにする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図鑑カードを作る</p>	<p>・<u>そのために</u>、～は（が）、～つくってあります。（なっています。）・・・等。</p> <p>3文目・・・つくりの文 ・～がついています。（あります。）・・・等。</p> <p>(2) 書いた文を読み返し、確かめる。 (3分)</p> <p>(3) 友達と交換して読み合う。 (5分)</p>	<p>個</p> <p>ペア</p>	<p>○「つくり」の文を書く時には、「じどう車くらべ」で学んだ「そとのけしきがよく見えるように、大きなまどがたくさんあります。」のように「～ように」を使うと詳しい説明文になることにもふれておく。</p> <p>○基本文型で書くことが終わったら、自分の感想やその他の知らせたいこと等を吹き出しに書くようにする。</p> <p>○声に出して読み、「仕事」と「つくり」が書いてあるか確認するようにする。見直しカードの花に色を塗りながら、表記上の誤り（「は」「を」「へ」、句読点等）がないか読み返すようにする。</p> <p>○カードが出来上がったら、友達と二人組になり、交換して読み合う。友達のよいところを見つけて、感想を伝える。終わったら、相手を変え、また読み合うようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉</p> <p>A より詳しい説明文にするために「じどう車くらべ」で学んだ「～ように」という言葉を用いながら「仕事」「つくり」を関係付けて書いたり、「仕事」「つくり」の説明文の他に吹き出しに知らせたいことや自分の感想を書いたりしている。</p> <p>B 「仕事」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書いている。</p> <p>C への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭作文をさせてから、説明文を書かせることにより、抵抗を感じることなく取り組めるようにする。 ・仕事とつくりが空欄になっている文型のヒントカードを渡し、メモを当てはめて書き写せるようにする。 <p style="text-align: right;">〈活動の様子・図鑑カード〉</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>4 学習を振り返る。 (1) 自己評価する。 (4分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・がんばったか・・・◎○△ (関心・意欲・態度面)</p> <p>・わかったことやできるようになったこと・・・記述</p> </div> <p>5 次時の学習内容を確認する。 (1分)</p>	<p>個</p> <p>全</p>	<p>○自分の頑張りや学習の成果を実感し、今後の学習の意欲につなげるために、態度面、内容面について、印を付けたり、記述したりすることで振り返るようにする。</p> <p>○壁に掲示してある学習計画表を示しながら、次時は図鑑を完成させ、友達と読み合い、感想を交流し合うことを確認し、意欲や見通しをもつようにする。</p>